



平成25年10月から2年6か月間、田村市副市長として尽力いただいた志村和俊氏が3月31日付をもって退任しました。

経済産業省出身の志村氏は在任中、東日本大震災と原発事故からの復旧・復興はもとより、その豊富な識見と卓越した手腕をもって、観光や上下水道事業の経営の方向性を示しました。また、市民との協働による地域資源を生かした新たな産品開発と情報発信を進め、田村市の魅力や可能性を見出すなど、市政の発展に全力で取り組まれました。

4月からは経済産業省へ戻られ、「個人の立場にはなるが、今後も田村市発展のために関わってきたい」と述べ、市役所に別れを告げました。



合併10周年を記念し、生活情報誌「田村市 暮らしの便利帳」を(株)サイネックス社との官民協働事業として共同発行しました。

「暮らしの便利帳」は、行政の制度や手続きに関する情報だけでなく、市の自然・観光・文化財・歴史などの地域情報なども掲載された実用性の高い冊子です。印刷・製本・配布に要する経費を(株)サイネックス社が負担し、広告料でまかなっているため、市の経費負担はありません。ぜひご活用ください。

また、電子書籍のアプリをダウンロードすることにより、スマートホンやパソコンで閲覧することもできます。ダウンロード方法など詳しくは下記ホームページをご覧ください。

『わが街事典』
<http://www.scinex.co.jp/wagamachi/ebook/support.html>

なお、お手元(1世帯に1部配布)に届いていない場合は、総務課または各行政局市民課へご連絡ください。

☎総務部 総務課 ☎81-2117

滝根行政局 市民課 ☎78-2111 大越行政局 市民課 ☎79-2111
都路行政局 市民課 ☎75-2111 常葉行政局 市民課 ☎77-2111

ふるさと常葉会設立30周年を記念して、古里の復興を願い、ソメイヨシノの苗木30本が寄贈されました。苗木は、常葉町の各教育施設へ植樹され、子どもたちの成長を見守る桜の木として、ふるさと常葉会員の思いが込められたものです。

富塚市長と白石勝美ふるさと常葉会30周年記念実行委員長、渡邊英雄ふるさと常葉会幹事長、早川英二田村森林組合長が3月16日、常葉幼稚園で、園児が見守るなか植樹を行いました。



船引町堀越の桑原都さんが、3月20日に満百歳を迎えられました。

贈呈式では、長男の桑原修さんが代理で受領しました。富塚市長から県知事賀寿と記念品の伝達、および市からの賀寿と祝金が贈られました。また、田村市社会福祉協議会、船引町老人クラブ連合会からそれぞれ賀寿と祝金が贈られました。都さんの長寿の秘訣は「3食きちんと食べていること」だそうです。

滝根町神俣の小堀小太郎さんが、4月2日に満百歳を迎えられました。

県から県知事賀寿と記念品、市から賀寿と祝金が贈られました。また、田村市社会福祉協議会、田村市老人クラブ連合会からそれぞれ賀寿と祝金、滝根町老人クラブ連合会から賀寿、神俣町・関場老人クラブ長寿会から祝金が贈られました。小太郎さんは、にこやかに賀寿などを受けられました。長寿の秘訣は「3食よく噛んで食べること」だそうです。



大越町上大越の松崎ハルミさんが、4月8日に満百歳を迎えられました。

県から県知事賀寿と記念品、市から賀寿と祝金が贈られました。また、田村市社会福祉協議会から賀寿と祝金が贈られました。

ハルミさんは、にこやかに賀寿などを受けられました。長寿の秘訣は「運動などで体を動かしていたこと」だそうです。

船引町東部台の大河原房さんが、4月10日に満百歳を迎えられました。

県から県知事賀寿と記念品、市から賀寿と祝金が贈られました。また、田村市社会福祉協議会、船引町老人クラブ連合会からそれぞれ賀寿と祝金が贈られました。

房さんは、にこやかに賀寿などを受けられました。長寿の秘訣は「年をとっても自分のことは自分でしていたこと」だそうです。

